

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視 点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒個々の学びを深め進路実現を図る教育課程を編成し、学習意欲と学力を向上させる。</p> <p>②カリキュラム・マネジメントを推進し、協働的に課題発見・解決できるグローバルリーダーを育成する。</p> <p>③特別活動等を通して主体性、社会性、協働性、創造力の育成を図る。</p>	<p>①履修指導を通して生徒の学習意欲を向上させ、課題発見・解決能力を育成する。</p> <p>②グローバルリーダーに必要な価値観を受容し多角的に思考する力の育成を図る。</p> <p>③学校行事や校外学習を通して、社会性や協働性を育成し、生徒の主体的な活動を充実させる。</p>	<p>①本校の授業の魅力を整理し、生徒の関心や進路との関連を重視した履修指導を充実させる。</p> <p>②生徒自身が学びの進捗を捉え批判的に考える意識の醸成を図れるよう、外部講師による講演の実施および授業改善研究を推進する。</p> <p>③学校行事の活性化を図るため、事前学習の充実や生徒との意見交換の場の創出に取り組む。</p>	<p>①効果的な履修指導により学習意欲、課題発見・解決能力は向上したか。(生徒による授業評価)</p> <p>②批判的・論理的に思考しようとする生徒の意識を醸成することができたか。(講演の振り返り、生徒による授業評価)</p> <p>③学校行事等において、主体的に取り組み、充足感や達成感を得ることができたか。(アンケート)</p>						
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>生徒指導・支援の組織的取組を推進し、たくましく生きる力の育成を図る。</p>	<p>①部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の涵養を促し、生徒の主体的な活動を充実させる。</p> <p>②学校安全を確保した安心・安全な学習環境の中で、生徒が自らの身心の健康を管理し、意欲的に学校生活を送れるよう、生徒支援の体制の充実を図る。</p>	<p>①部活動の活性化を図るため、部活動説明会や部活動表彰等を行う。</p> <p>②危機管理マニュアルを整備し組織的な危機管理体制を構築する。生徒の日常生活における変化の速やかな情報共有を行い、未然防止の観点に重点を置いた組織的な生徒指導・教育相談体制を実施する。また、学校として対応すべきことと外部支援に依頼すべきことを適切に判断する。</p>	<p>①部活動の加入率を上げることができたか。(部員調査)</p> <p>②危機管理マニュアルに定める事項を十分に職員に周知できたか。生徒支援について、学校内における対応や外部支援への対応について、組織的な対応とその成果・改善点を次年度へ適切に引き継ぐことができたか。(担当者による評価)</p>						

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	様々な教育活動をとおして、生徒が主体的に進路目標を定め実現していく力を育成する。	進路実現に対する生徒の意識向上を目指し、効果的な情報の提示や働きかけを行う。	①生徒の進路希望の実態を把握した上で、ガイダンスルーム掲示板やクラスルーム等を活用し、必要な情報を随時提供する。 ②各進路行事の目的を職員・生徒に共有し、参加の意識を高める。また実施後はアンケートなどで振り返りを行い、行事の効果を検証する。	①情報発信の頻度や生徒の実態に応じた情報提供ができたか。 (県立高校アンケート) ②各進路行事に対し生徒の取り組みは積極的だったか。任意参加の進路行事の参加率や満足度は向上したか。					
4 地域等との協働	①教育資源を活用し、未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する。 ②家庭、地域社会等との連携・協働により、持続可能な社会の創造を図る。	①授業やグローバル教育に係る行事等で外部資源を活用し協働して課題解決を図る意識の涵養を図る。 ②ホームページの充実と様々なコンテンツを利用した学校内外への情報発信により広報の充実を図り、家庭、地域社会との連携・協働につなげる。	①総合的な探究の時間のフィールドワークやミニスタディツアー、ワールドカフェ等外部と連携した行事等を実施する。海外パートナー校交流を再開する。 ②ホームページ等の作成担当者を増やし常に新しい情報を配信ができる職場環境づくりを通して発信力を高める。	①協働して課題解決を図る意識を醸成できたか。(行事の振り返り、生徒による授業評価等) ②有益かつ分かりやすいホームページであるか。改善が継続的に実施できたか。(情報更新数、発信数等)					
5 学校管理 学校運営	①社会の変化に対応し、柔軟かつ迅速に教育課題に取り組み、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。 ②教育計画とのバランスを図り、教員の働き方改革を進める。	①コロナ禍で中止となっていたパートナーズをはじめ各部会等の活動の活性化を図る。 ②各学習教室へのICT環境の改善を行い、生徒及び教員により良い教育・職場環境を提案する。教員の校務等が逼迫していないかを含め年間教育計画の見直しを行う。	①現状における開催方法等について最善策及び必要性について検討をする。 ②各学習教室にプロジェクター等の設置を行う。社会変化に応じた働き方を提案する。行事の精査と日程等の検討をする。	①各活動を活性化させ社会に開かれた教育活動が実施できたか。 ②ICTを活用しより良い教育環境が実現できたか。必要とする業務か否かを精査しスリム化が行えたか。					